

## 総合的な学習の時間 「手話体験」

川崎市立小倉小学校



### 単元（題材）目標

- 様々な障がいについて、自分と立場の異なる人々と関わったり一緒に学習したりすることで、互いを理解し合い尊重できる心を育てる。
- 活動から課題を見つけ、福祉の視点から小倉のまちを見直す。

### （1）実施時期

11月中旬

### （2）対象（学年等・人数）

第4学年 89名



### （3）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：第4学年所属 4名

外部講師：手話サークル「太陽の会」7名



### （4）実施内容

#### ①講演会：聴覚障がいについて（学年全体）

- ・聴覚障がいの方がどんなことに困っているのか、話を聞く。（手話通訳あり）

#### ②手話体験：各学級で手話実践

- ・各学級に講師2名（聴覚障がいの方は1名）
- ・簡単な会話（あいさつなど）
- ・手話に関する基本的知識
- ・手話における拍手の仕方

#### ◎「今後の生活の中で、自分にどのようなことができるか」という視点で振り返る。

- ※相手がどんなことで悩んでいるのか、どんなことをしてほしいと思っているのか、考えていくことを意識して指導した。

### （5）成果〈生徒の感想などから〉

- これまで触れ合うことの少なかった聴覚障がい者や手話について、理解や興味を深めることができた。

#### 〈児童感想 一部抜粋〉

- これまで手話のことや聴覚障がいの人について何も知らなかったけど、今日の話聞いて苦労がわかった。もし、困っている人を見かけたら自分から声をかけていきたい。